

解答

問一	a 辞書	b 背表紙
問二	写真にハルがうつっていた〔こと〕	
問三	キツネみたいにとがった鼻	
問四	／ アゴの下と胸の白い毛	
問五	イ	
問六	ウ	
問七	よこれて	
問八	エ	
問九	イ	
問十	エ	
問十一	ア	
問十二	ア	
問十三	リードを　　ゝ　　気がする〔から〕	
問十四	エ	

二

問一	あたえる
問二	定義
問三	A エ　　B オ　　C イ
問四	ふ化直前の卵の中でヒナが鳴き始める〔こと〕
問五	イ
問六	ウ
問七	まず鳴　　ゝ　　ばれる〔というプロセス〕
問八	生態
問九	イ
問十	卵の中のヒナの鳴き声
問十一	必
問十二	エ
問十三	人間
問十四	ア
問十五	ウ、エ

三

問一	1	説	2	著作	3	営	4	境地	5	拳	6	うやま	7	ちぢ
問二	1	四〔画目〕	2	四〔画目〕										
問三	1	りっとう	2	おおざと										
問四	1	年												
問五	1	オ	2	ウ										

解説

一

問三	傍線②の前に着目します。「おじちゃん！　これ、ハルだよ。」と言ったあとに、「キツネみたいにとがったアゴの下と胸の白い毛。」とあり、ハルの特徴が述べられています。
問六	傍線④の直後にある「ぼくは、ちょっとしんばいになった。知らせて、ハルを、アローをかえせといわれ

たらどうしようと思ったのだ。」という記述から、選択肢ウが最も適當であることがわかります。

問十四 本文の終わりには、ぼくとハルが鉢伏山に登っていく様子が描かれています。「よし、いこう。」と山道にはいつてから、ハルはぐんぐんぼくを引っ張り、まよいもなく、てっぺんに向かって進んだことから、選択肢エが選べます。

問十

傍線⑦を含む「時期がきて卵の中で鳴き始めても、それに答える親はありませんし」という部分から、その指すものは卵の中でヒナが鳴き始める声であることがわかるので、十字で答えます。

問十四

傍線⑨の少し前でふ卵器の中の卵について述べています。飼育係と親子のきずなを結んだヒナは飼育係のあとを追って歩いて歩くことや、群れに戻す時期に自分の属する鳥の集団にはいろうとしない様子から、ヒナは自分を人間と思い込んでいることがわかります。そこで「自分の親が誰なのか分からず混乱したまま成長する」という記述を含む、選択肢アが正しくないことがわかります。